

親子聖書日課

NO.1505 2017.7/30-8/5

名前

[日]信じたら離れないのがキリストの愛です。主の愛はどんな苦しみからでも私達を守り、支え、人生に「輝かしい勝利」を与えて下さいます。たとえ、死の宣告を受けても復活の命が待っています。主の愛の深さ、広さ、大きさを知りましょう。

[月]人が救われるのは、人間の努力ではなく、ただ神の憐れみです。とは言っても何もなくてよいではありません。パウロは滅びゆく人々を思うと「深い悲しみ、絶え間ない痛み」がありました。私達も祈禱会で熱心に祈り、伝道に励みましょう。

[火]私達は人を裁く「怒りの器」として、主の召し出されたのではなく、人を愛し、赦す「憐れみの器」として召し出されました。主の怒りに遭うべき者が、主の憐れみによって赦されたことを証するために選ばれたのです。主の栄光を輝かせましょう。

[水]心の中で主を信じればよいという人がいますが、十分ではありません。私達の心は変わりやすいからです。「イエスは主であると、口で公に言い表して救われるのです」言い表すことによって、確信が与えられます。恐れず告白しましょう。

[木]忠実な者は自分だけと思っははいけません。「現に今も、恵みによって選ばれた者が残って」います。他にも忠実な者がいます。その人達を見い出して、一緒に働く時、福音の働きは拡大します。選ばれた者として、忠実に主に仕えましょう。

[金]主は私達を愛するが故に、怠惰な生き方に対して厳しく裁かれます。甘えは禁物です。信仰に堅く立ち、悪いことはきっぱりと止めましょう。主に「接ぎ木され」と、命を頂き、御霊の実を結べます。「神の慈しみと厳しさを考え」ましょう。

[土]この社会は価値がなくなると、リストラします。しかし、神は一度選んだ者が落ちぶれてもリストラしません。「神の賜物と招きとは取り消されない」のです。ですから、生涯安心して、賜物を用いて働けるのです。信仰には定年がありません。



	聖書	問題	答え
日	ローマ 8:31-39	私達を愛してくださる方によって、何を収めていますか。	
月	9:1-18	神は御自分を憐れみたいと思うものをどうされましたか。	
火	9:19-10:4	神は私達を何として召し出して下さいましたか。	
水	10:5-21	実に、人は心で信じて義とされ、口でどうしたなら救われますか。	
木	11:1-10	現に今も、恵みによって誰が残っていますか。	
金	11:11-24	だから、神の慈しみと何を考えるべきですか。	
土	11:25-36	神の賜物と招きとは、どうされませんか。	
感想と祈りの課題			